

記者発表資料

横浜港のコンテナ搬出入の予約制の導入に向けた実証実験を行います。
～実証実験への海貨業者・海コン業者の参加をお願いします！～

国際コンテナ戦略港湾のコンテナターミナル周辺の渋滞緩和対策として、ITを活用した効率的なコンテナ搬出入の実現を目指し、横浜港において、『コンテナ搬出入予約制』（以下、予約制。概要は別紙1参照）の導入を検討しており、昨年7月には2箇所のターミナルでプレ実証実験を行い、予約制の仕組みの検討に必要な基礎データを収集しました。

今般、プレ実証実験の結果を踏まえた暫定的な仕組みを用いて、横浜港の全てのターミナルにおいて実証実験を行い、海貨業者や陸運事業者がシステムに習熟することにより予約制導入に向けた環境づくりを進めるとともに、実用性を確認して参ります。

※今回の実験は、登録した時間帯におけるコンテナ搬出入の優先や確約をするものではありません。
(登録した時間帯のとおりコンテナの搬出入ができない場合があります。)

【事前登録制の概要】

- <主催> 横浜港IT化検討チーム事務局
(国土交通省関東地方整備局、横浜市港湾局、横浜港埠頭株式会社、横浜港運協会)
- <目的> ○海貨業者、陸運事業者がシステムに習熟することによる、予約制導入に向けた環境づくり
○プレ実証実験の結果を踏まえた暫定的な仕組みの実用性の確認
- <実施期間> 平成26年2月19日(水)～3月18日(火)
- | | | |
|---|------------------------------------|---|
| { | 2月 6日(木)より参加受付開始 | } |
| | 2月19日(水)～ 3月11日(火) 暫定システムを利用した実証実験 | |
| | 3月12日(水)～ 3月18日(火) 利用者へのアンケート調査 | |
- <実施場所> 横浜港 全コンテナターミナル
- <実施方法> 別紙2参照

【参加方法】

- 参加を希望する海貨業者・海コン業者は、コンテナ物流スマートリンクシステム(Cs-Link)より初期登録をお願いします。 **Cs-Link のアドレス** <https://cs-link.net/>
- 参加受付の開始は、2月6日(木)～
- 参加方法について2月10日、12日、19日、20日、21日に海貨業者・海コン業者向けの説明会を開催します。Cs-Linkよりお申し込み下さい。

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、物流専門紙、その他専門紙

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局港湾空港部 港湾物流企画室
室長 小澤 敬二 (こざわ けいじ)、 課長補佐 今野 頼夫(こんの よりお)
TEL:045-211-7437 FAX:045-211-0204

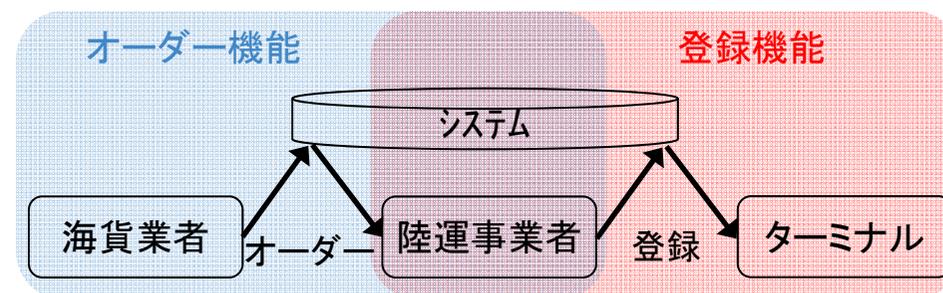
- 国際コンテナ戦略港湾では、コンテナ取扱量の増加に伴い、コンテナを搬出入するトラックによる渋滞が恒常的に発生。
- 渋滞緩和の対策として、これまでも、コンテナターミナルの容量拡大・処理能力向上、ゲート前のウェブカメラ映像の提供等の取組みを総合的に推進。
- 今般、ITを活用した効率的なコンテナ搬出入の実現を目指し、横浜港において、予約制の導入を検討。

コンテナターミナル前の渋滞状況の一例



予約制のイメージ

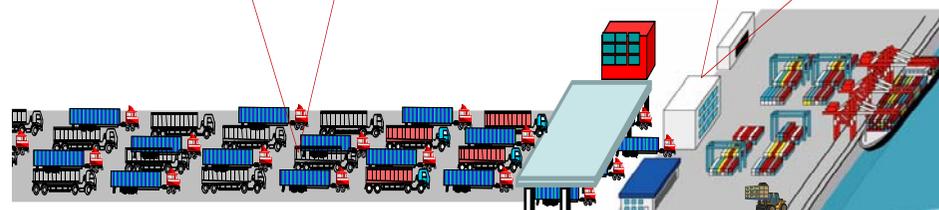
(関係者間の手続きとシステムの機能)



予約制の導入による効果

①コンテナ搬出入の
繁閑の平準化

②予約情報に基づく
荷役作業や
ゲートレーンの
運用の効率化



	プレ実証実験	実証実験
目的	○予約制の仕組みの検討に必要な基礎データを収集する。	○海貨業者、陸運事業者がシステムに習熟することによる、予約制導入に向けた環境づくり ○プレ実証実験の結果を踏まえた暫定的な仕組みの実用性の確認
実施時期	H25. 7. 4~H25. 7. 31	H26. 2. 19~H26. 3. 18
実施場所	2ターミナル（本牧BC、南本牧MC-1,2）	11ターミナル（横浜港の全ターミナル）
実施内容	① 海貨業者が、陸運事業者に対し、コンテナ搬出入のオーダーを行う。 ② 陸運事業者は、システム上で、コンテナを搬出入する時間帯(8:30~10:30等)を選択し登録する。(システム上に時間帯毎の登録状況を表示) ③ 登録車は、登録した時間帯にターミナルに行き、入場する。 ※非登録の車両があること、実験では時間帯毎の上限台数を設定していないことから、登録した時間帯でのコンテナの搬出入が確約されるものではない。	
(関係者間の手続きと、システムの機能)		

【プレ実証実験で得られた基礎データの例】

○登録のタイミング

朝一番目の予約枠(8:30~10:30)では「前日まで」が7割超であり、その他の予約枠については「直前~6時間前まで」が最も多かった。

○登録した時間帯と実際の到着時刻のズレ

登録した時間帯どおりに到着した車両は69%、予約枠前後30分以内のズレで到着した車両は8%であった。(予約枠前後30分以内に77%の車両が到着)

○登録車・非登録車の割合

登録車が30%、非登録車が70%であった。

【暫定的な仕組み】

○登録の締切

当該時間帯の直前まで登録を可能とする。

○時間帯の刻み方

プレ実験と同様に2時間幅を基本とする。

○登録車の割合の向上

関係者の利便性向上のため海貨から陸運へのオーダー機能を導入する。

仕組みの検討